

福音メッセージ イエスカバラバか

マルコの福音書 15章 1～15節 【新改訳2017】

- 1 夜が明けるとすぐに、祭司長たちは、長老たちや律法学者たちと最高法院全体で協議を行ってから、イエスを縛って連れ出し、ピラトに引き渡した。
- 2 ピラトはイエスに尋ねた。「あなたはユダヤ人の王なのか。」
イエスは答えられた。「あなたがそう言っています。」
- 3 そこで祭司長たちは、多くのことでイエスを訴えた。
- 4 ピラトは再びイエスに尋ねた。
「何も答えないのか。見なさい。彼らはいんなにまであなたを訴えているが。」
- 5 しかし、イエスはもはや何も答えようとされなかった。
それにはピラトも驚いた。
- 6 ところで、ピラトは祭りのたびに、人々の願う囚人一人を釈放していた。
- 7 そこに、バラバという者がいて、暴動で人殺しをした暴徒たちとともに牢につながれていた。
- 8 群衆が上って来て、いつものようにしてもらうことを、ピラトに要求し始めた。
- 9 そこでピラトは彼らに答えた。
「おまえたちはユダヤ人の王を釈放してほしいのか。」
- 10 ピラトは、祭司長たちがねたまからイエスを引き渡したことを、知っていたのである。
- 11 しかし、祭司長たちは、むしろ、バラバを釈放してもらうように群衆を扇動した。
- 12 そこで、ピラトは再び答えた。「では、おまえたちがユダヤ人の王と呼ぶあの人を、私にどうしてほしいのか。」
- 13 すると彼らはまたも叫んだ。「十字架につけろ。」
- 14 ピラトは彼らに言った。「あの人がどんな悪いことをしたのか。」
しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につけろ。」
- 15 それで、ピラトは群衆を満足させようと思い、バラバを釈放し、イエスはむちで打ってから、十字架につけるために引き渡した。

イエスカバラバか

マルコの福音書 15:1～15

I. 違法の裁判

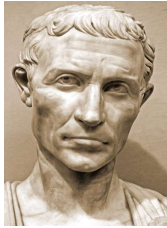
1. 真夜中の宗教裁判から早朝の政治犯裁判へ

- 訴状「イエスは自分をユダヤ人の王と言った」(2節)
- 扇動された群衆に判決が揺らぐ

2. ピラトの苦境

- ピラトの恐れ **ヨハネ 19:7, 8**
- ピラトを推奨したセイヤヌスの処刑 A.D.31.10.18
(ローマ帝国親衛隊長官。権勢を振るう)

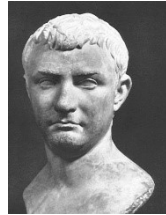
この日は A.D.33.4.1



ピラト(?)



皇帝ティベリウス



セイヤヌス

ヨハネ 18:29～32 それで、ピラトは外に出て、彼らのところに来て言った。「この人に対して何を告発するのか。」彼らは答えた。「この人が悪いことをしていなければ、あなたに引き渡したりはしません。」そこで、ピラトは言った。「おまえたちがこの人を引き取り、自分たちの律法にしたがってさばくがよい。」ユダヤ人たちは言った。「私たちはだれも死刑にすることが許されていません。」これは、イエスがどのような死に方をするかを示して言われたことばが、成就するためであった。



カプリ島

II. ピラトの妥協案

1. 囚人特赦の慣習

- いかにか狂った群衆でも…

2. イエス・バラバか、キリストと呼ばれるバラバか

- イエス ← イエシュア
- バラバ ← バル・アバ「父の息子」



「青の洞窟」

III. 群衆の声が勝つ

1. 正義が曲げられた日

- 裁判官が三度も無罪を宣言したのに…
- 罪なきキリストがむち打ちと十字架刑に
- 犯罪者バラバが解放され自由の身に

マタイ 27:17 それで、人々が集まったとき、ピラトは言った。「おまえたちはだれを釈放してほしいのか。バラバ・イエスカ、それともキリストと呼ばれるイエスカ。」

2. その後の歴史

- エルサレム陥落(A.D.70) イスラエル国家滅亡
- ユダヤは「パレスチナ」(ペリシテ人の土地、の意)に
- 何世紀も続くユダヤ人迫害(ポグロム、ホロコースト)
「キリスト殺し」の汚名

マタイ 27:24, 25 ピラトは、語る事が何の役にも立たず、かえって暴動になりそうなを見て、水を取り、群衆の目の前で手を洗って言った。「この人の血について私には責任がない。おまえたちで始末するがよい。」すると、民はみな答えた。「その人の血は私たちや私たちの子どもらの上に。」

3. その後のバラバ

- 歴史は沈黙
- 十字架の後の天変地異(地震、神殿の幕が裂ける、墓から死人が蘇る)
- イエス復活のうわさがエルサレムに満ちる
- エルサレムで数千人がクリスチャンになる

ローマ 7:6～8 実にキリストは、私たちがまだ弱かったころ、定められた時に、不敬虔な者たちのために死んでくださいました。正しい人のためであっても、死ぬ人はほとんどいません。善良な人のためなら、進んで死ぬ人がいるかもしれません。しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。